

— 地域の皆様へのお願い —

“一本のひまわりで 一つのこころの輪を結ぼう”

《つくしファームひまわり畑の由来》

私どもが、毎年ひまわりを植えている『つくしファームひまわり畑』の一角は、昭和40年代から50年代にかけて、精神科リハビリテーションとして川室記念病院が農耕・園芸療法を行ってきた場所です。

当時、現在のように精神障がい者を地域で受け入れる環境は整備されておらず、また多種類の抗精神病薬も開発されていませんでしたので、地域にその方々を社会復帰させていくことは大変なことでした。その中で、土に触れる農耕・園芸作業は、当時のリハビリテーション技法として、非常に有効なものでした。

その後、院内でのリハビリテーションの充実や早期退院が可能になったことなどから、病院から少し離れたこの場所を利用することは少なくなり、近年は全く利用することがなくなってしまいました。

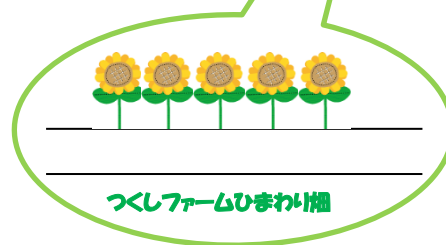
しかし、平成22年にこの土地を利用して、地域を活性化することが出来るのではないかと考え、この地にひまわりを植え『つくしファームひまわり畑』が出来上がりました。

《今後のつくしファームひまわり畑の充実》

長らく畑として利用していなかった土地でしたが、医療法人常心会川室記念病院 川室優 理事長が所有する土地にひまわりを植え、それ以降、地域の方々にもご理解とご協力を賜り、毎年少しずつ面積を増やし、平成25年には約18万本のひまわりを咲かせることが出来ました。

現在、私どもは、障がい者の働く場、高齢者の生きがいづくりの場としてこの「ひまわり畑」を利用することを計画しています。平成30年も、約22,000㎡(2.2ha)の畑に植栽します。初秋には、たくさんのひまわりの種を収穫することが出来、それを平成28年に発足した合同会社「越後つくしの里・ひまわりソーシャルサポートネット」が中心となって搾油し、『ひまわりオイル』を生産したり、種を利用した製品を作ったりすることで、障がい者の就労の場となるように計画しています。

そのためには、より一層、地域や市民の皆様に関心を持って頂けるような『つくしファームひまわり畑』の実現を願っております。どうぞよろしくご支援・ご協力をお願いいたします。



「第8回 越後ひまわり祭」

まあるいところで 共ににっこり
こころの理解を求めて

ご案内



越後ひまわり祭実行委員会

連絡先

(福) 上越老人福祉協会(事務局) いなほ園
TEL025-520-2121/E-mail jrf_jimukyoku@inaho-s-net.com
(福) 上越つくしの里医療福祉協会 つくし工房
TEL025-520-3294/E-mail tsukushifarm@tsukushinosato.com
(医) 常心会 川室記念病院
TEL025-520-2021/E-mail info@kawamuro.net

《ご挨拶》

皆様、「越後ひまわり祭」に関心をお持ちくださり、ありがとうございます。今年も『つくしファームひまわり畑』と名付けた地に、元気の源である大輪のひまわりが咲き誇る予定です。

この地、『越後新保』には、障がい者・高齢者の医療福祉施設があり、子どもは永きにわたって社会復帰・社会参加をめざす方々、人生の終の棲家を求めたお年寄りの方々を治療・支援してまいり、現在に至っております。

子どもは、毎年、この地に咲く「ひまわり」に“5つの願い”を託し、ひまわりを楽しんでいます。

1. 障がい者理解を深め、偏見と差別をなくそう
2. 美しい、豊かな田園の自然環境を守ろう
3. ふるさとを思い、語り合い、支えあおう
4. 人が集い、生かされ、地域を築いていこう
5. いのちとところを大切に、平和を祈ろう

越後ひまわり祭実行委員会 委員長 川室優



H28.8.4 ひまわり畑（上越市大字南新保字西野）

《ひまわりの開花まで（平成30年度予定）》

ひまわりは植栽から60日ほどで開花します。この植栽は8月のひまわり祭に合わせて5月下旬～6月上旬に種まきを行っています。

以下、イベントの詳細はつくしの里のホームページ (<http://www.tsukushinosato.com>) に随時掲載します。

《種まき（ひまわり植栽イベント）》

平成30年 6月 2日（土）

- ※ 地域の皆様や施設利用者だけでなく、市民の皆様にもご参加いただけます。担当はつくし工房（TEL 025-520-3294）です。

《第8回越後ひまわり祭》

平成30年 8月 4日（土）

- ※ 畑の散策やコンサートなどがあります。担当は上越老人福祉協会（TEL 025-520-2121）です。

《ひまわりアート展》

平成30年 8月～ 9月

- ※ ひまわり畑の絵や写真を募集します。9月30日（日）に開催する「第18回はさ木フェスタ」にて展示・コンテストを予定しています。担当は川室記念病院（TEL 025-520-2021）です。



H25.8.9 ひまわり祭（新井吹奏楽団アンサンブル）



H25.8.9 東京大学米川教授による講演



H29.3 笹川春艸先生による「向日葵」
（本町2つくしワークショップスペース）